

大韓民国  
老人保健医療センタープロジェクト  
計画打合せ調査団報告書

平成4年3月

国際協力事業団医療協力部



医協
JR
92 + 24



JICA LIBRARY



1106345(0)

国際協力事業団

25263

## 序 文

大韓民国政府は老人の社会福祉、医療協力政策を強化する一施策として、聖心医療財団が設置した老人保健医療センターに対し、臨床、研究、検査、リハビリテーション、看護等の分野における技術協力を要請し、我が国はこれを受けて、平成2年11月1日から5年間の予定で韓国老人保健医療センタープロジェクトを実施中である。

今般、本プロジェクトの状況の把握及び今後の技術協力計画策定のため、東京慈恵会医科大学教授米本恭三氏を団長とする計画打合せ調査団を平成3年10月22日から同月26日まで現地に派遣した。

本報告書は、右計画打合せ調査団が実施した調査及び協議内容とその結果について取りまとめたものである。

ここに本調査にあたり、ご協力を賜った関係各位に対し、深甚なる謝意を表すと共に、今後とも本件協力事業の成功のため、更なるご支援をお願いする次第である。

平成4年3月

国際協力事業団

医療協力部長 曾我 絃一



## 目 次

1. 計画打合せ調査団の派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	2
1-3 日程表	2
1-4 主要面談者	3
2. 要約	4
3. 暫定実施計画の進捗状況	4
3-1 協力部門別活動	4
3-2 建物施設	6
3-3 専門家派遣	10
3-4 研修員受入	11
3-5 資機材供与及び利用状況	12
4. 暫定実施計画（TSI）及び詳細年次計画	16
5. 実施運営上の問題点	18
添付資料	19
(1) 韓国老人保健医療センター運営計画	20
(2) 脳卒中原因の疫学的調査研究（案）	21





## 1. 計画打合せ調査団の派遣

### 1-1 調査団派遣の経緯と目的

韓国においては、1987年末の65才以上の高齢人口は185万人で全人口（4,300万人）の4.3%であったが、2015年には、全人口（5,450万人）のうち9.2%の500万人の高齢人口を抱えることが予想されている。同国の第6次国家経済開発5ヶ年計画にも社会福祉政策が強調されているものの、老人福祉に関する配慮はいまだ不十分であり、老人医学を専修した医師も少なく、老人専門病院は皆無に等しい状況であった。韓国側関係機関は、かかる状況に鑑み、聖心医療財団が漢江聖心病院の敷地に隣接して建設した「老人保健医療センター」に対し①高齢期老人に対する老人病の保健指導、各種老人性疾患の予防診療治療、②老人保健医療（老人学）の科学的研究、技術開発③老人保健医療専門家の養成、教育研修を行うことを目的として本プロジェクトを計画し、臨床、研究、検査、リハビリテーション、看護等の分野における技術協力をわが国に要請した。韓国政府科学技術処は保健社会部、聖心医療財団により提示された韓国老人保健医療センターの建設及びわが国に対する技術協力の要請を承認し、1989年度対日プロジェクト方式技術協力要請案件（4件）のうち第1優先順位にて要請越した。

かかる韓国側の要請に基づき、平成元年（1989年）7月事前調査、平成2年（1990年）7月長期調査、及び同年9月実施協議調査を実施し、次の方針により協力を開始した。

- (1) 協力期間 平成2年11月1日から5年間
- (2) 協力目的 関連病院及び地域への広がりを含め、老人保健医療センターをプロジェクトサイトとし、脳卒中を対象疾患に絞り、予防から診断、治療、リハビリテーション、在宅ケア、そして研究に至る包括的取組の中で技術移転を図ることによって韓国老人の健康並びに日常生活動作能すなわち生活の質の向上に貢献する。
- (3) 協力分野 内科（予防、診断、治療）、放射線科（予防）、外科（治療）、リハビリテーション科、看護科、疫学、栄養学等

今般の計画打合せ調査団は、老人保健医療センターオープン（1991年10月25日）以降の具体的協力内容、協力方法について詳細に先方と協議することを目的とした。

1-2 調査団の構成

	担 当	氏 名	所 属
団長	総括/リハビリテーション	米本恭三	東京慈恵会医科大学・教授
団員	臨 床	東儀英夫	岩手医科大学・教授
団員	協力計画	橋口道代	国際協力事業団医療協力部医療協力課

1-3 調査日程

日順	月日	曜日	移動及び業務
1	10. 22	火	11:00 NH907 東京→ソウル 移動
2	23	水	韓国老人保健医療センター表敬及び内部視察 関係者との協議 韓国政府保健社会部、科学技術処表敬
3	24	木	シンポジウム準備 日本大使館表敬
4	25	金	シンポジウム “Recent Research in Gerontology” 韓国老人保健医療センター開所式
5	26	土	11:45 UA826 ソウル→東京 (東儀、米本) 移動 15:30 JD252 “ (橋口)

#### 1-4 主要面談者

##### 大韓民国保健社会部

柳 元夏	医政局長
鄭 相潤	病院行政課長

##### 大韓民国科学技術処

具 本悌	技術協力局	技術協力1課長
金 烏夫	研究協力担当官室	行政事務官

##### 老人保健医療センター

尹 大元	理事長
朱 軫淳	センター長

##### 在大韓民国日本大使館

<small>しもこうち</small> 下荒地 修二	参事官 (経済担当)
阿部 孝哉	一等書記官

## 2. 要 約

プロジェクトの目的について老人保健医療センター側と以下のとおり再確認した。

協力を実施する中で、特に重点を置くべき分野について韓国側との意見調整を行なったところ、脳卒中の診断治療に重要な神経内科とリハビリテーションが特に重要であることを双方で確認した。また研究についても可能な限り協力してほしい旨要請された。

また、老人の疾病は複雑であり、脳卒中及び関連する疾病についても研修等行ないたい旨要望があり、調査団はこれを了解した。

プロジェクトの中心となるスタッフは現在日本で研修中の人を含んでおり、研修終了次第プロジェクトの推進役になる予定である。

## 3. 暫定実施計画の進捗状況

### 3-1 協力部門別活動

老人保健医療センターの完成が遅れ(1991年10月25日開院)、診療開始は開院の約1か月後の12月であった。

プロジェクト全般のこれまでの動きは次のとおりである。

1987		韓国老人保健医療センター設立計画案
1989		プロジェクト要請書提出
1989.	7. 25	事前調査団派遣
1990.	1. 23	韓国老人保健医療センター着工
1990.	9. 18 - 9. 21	実施協議調査団派遣 R/D署名
1990.	11. 1	技術協力開始
1990.	11. 21 - 11. 28	研究分野専門家(4名)派遣
1991.	3. 18 - 3. 22	神経内科専門家派遣
1991.	8. 28 - 9. 2	疫学専門家派遣
1991.	10. 23 - 10. 26	計画打合せ調査団派遣
1991.	10. 25	韓国老人保健医療センター竣工
1991.	11. 17 - 11. 25	老人社会学専門家派遣
1991.	11. 26 - 12. 6	機材据え付け専門家(2名)派遣
1991.	12. 2	韓国老人保健医療センター診療開始

ここまでの部門別の活動は以下のとおりである。

## 診断と治療

分野全体の計画立案のための神経内科専門家を派遣した。(3-3参照)

臨床部門の中心となる神経内科の医師を研修中。(3-4参照)

臨床関係機材を供与した。(3-5参照)

## リハビリテーション

リハビリテーション部門の医師を研修中。(3-4参照)

リハビリテーション機材を供与した。(3-5参照)

## 看護

看護婦を研修中で特にICUケアを研修の中心にしている。(3-4参照)

## 研究

脳卒中の原因を疫学的に調査する計画立案についての疫学専門家を派遣した。

(3-3参照)

韓国側の予算(約200万円)で調査実施予定。

## その他関連分野

整形外科の研修員を受入中。(3-4参照)

### 3-2 建物施設

調査団の訪韓時に韓国側が建設した本センターの開所式が行われた。センター内部の構成は次のとおりである。機材については我が国からの供与分のほか、韓国側で購入したものもある。

#### 【老人保健医療センター】

屋上	ヘリポート
10階	講堂（リハビリテーション）、VIPルーム
9階	個室病棟
8階	一般病棟
7階	一般病棟
6階	一般病棟
5階	研究部門
4階	ICU
3階	ICU
2階	手術室 術後回復室
1階	外来
地下1階	リハビリテーション部門 放射線
地下2階	駐車場
地下3階	駐車場

【老人保健医療センター側で購入した機材リスト】 (参考)

◇ Clinics ◇

NO.	機 材 名	数 量	価 格
1	MRI	1	\$ 1,559,000
2	Angio X - Ray Unit	1	\$ 1,414,925
3	Autoelectric Bed	3	\$ 142,660
4	Flowmeter	67	\$ 5,025
5	Suction Unit Wall Type	67	\$ 10,452
6	EKG Monitor 1ch	3	\$ 4,423
7	X - Ray Film Processor	1	\$ 13,900
8	Wall Type B. P	30	\$ 4,230
9	Sitz Bath	1	\$ 2,500
10	Dressing Car 大	11	\$ 2,145
11	” 中	17	\$ 3,607
12	Chair	13	\$ 2,530
13	Bed Pan Washer	6	\$ 14,385
14	Bed	208	\$ 76,533
15	Matress	208	\$ 8,535
16	Bedside Table	208	\$ 15,467
17	Wheel Chair	28	\$ 5,128
18	Electric Dermatome	3	\$ 9,308
19	Interferential Current Therapy	3	\$ 14,800
20	Stretcher Car	334	\$ 115,990
21	Operating Lamp	5	\$ 111,666
22	Operating Table	5	\$ 144,690

◇ Research ◇

1	LN2 Storage Container	2	\$ 3,300
2	CO2 Incubator	1	\$ 10,000
3	Clean Bendh	2	\$ 8,980
4	Hot Plate & Stirrer	2	\$ 650
5	Electronic Balance	1	\$ 2,570
6	Vortex Mixer/Shaker	3	\$ 1,090
7	Water Purification System	1	\$ 10,650
8	Refrigerated Microcentrifuge	1	\$ 8,500
9	Fume Hood	2	\$ 7,700
10	Steam Sterilizer	1	\$ 4,750
11	UV Photographic system	1	\$ 2,310
12	Glassware Sterilizer/Dryer	1	\$ 9,000
13	Vacuum/Pressure Pump	2	\$ 835
14	PH Meter	1	\$ 2,700
15	Electrophoresis System (Horizontal)	1	¥ 2,440
16	Electrophoresis System (Vertical)	1	\$ 14,000 \$ 5,520
17	Microcentrifuge	1	\$ 4,400
18	Shaking Water bath	1	\$ 3,300
19	Pipette Washer	3	\$ 1,560
20	Bunsen Burner	2	\$ 250
21	Pipette Aid	4	\$ 870
22	Pipetman/Stand	9	\$ 2,160
23	Freezer	1	\$ 11,500
24	Bath, Water	1	\$ 1,000
25	Incubator	1	\$ 2,500
26	Ice - Maker, Dry	1	\$ 500



27	Ice - Maker	1	\$ 3,000
28	Shaker, Incubation	1	\$ 7,000
29	Heating Block	1	\$ 1,000
30	Densitometer	1	\$ 25,000
31	Fluorescence Microscope	1	\$ 15,000
32	Inverted Microscope	1	\$ 22,300
33	Ultracentrifuge	1	\$ 110,000
34	HPLC	1	\$ 30,000
35	High Speed Centrifuge	1	\$ 25,000
36	Scintillation Counter	1	\$ 35,000
37	Polymerase Chain Reaction	1	\$ 17,000
38	Peptidesynthesizer	1	\$ 63,000

### 3-3 専門家派遣

協力開始時から本調査団派遣時までの専門家派遣実績は以下のとおりである。

1990年11月のシンポジウムおよび研究分野の計画立案のため、栄養・疫学の専門家を4名(①～④)派遣したほか、臨床、疫学調査の全体計画立案のための専門家(⑤及び⑥)を派遣した。

今後の専門家派遣については、韓国側から日本で研修を終了した研修員のアフターケアのための専門家を派遣してほしいとの要望が出された。

	指導科目	専門家氏名	派遣期間	所属先
①	臨床栄養学	小林修平	1990. 11. 21-1990. 11. 28	国立健康・栄養研究所所長
②	臨床疫学	田中平三	1990. 11. 21-1990. 11. 24	東京医科歯科大学 難治疾患研究所教授
③	医疫学	柴田 博	1990. 11. 21-1990. 11. 24	財団法人東京都老人総合 研究所研究部長
④	老人栄養学	藤田美明	1990. 11. 21-1990. 11. 28	財団法人東京都老人総合 研究所栄養研究室室長
⑤	神経内科	東儀英夫	1991. 3. 18-1991. 3. 22	岩手医科大学医学部教授
⑥	疫学	田中平三	1991. 8. 28-1991. 9. 2	東京医科歯科大学 難治疾患研究所教授
⑦	技術協力	曾我紘一	1991. 10. 24-1991. 10. 26	国際協力事業団医療協力部 医療協力部長

### 3-4 研修員受入れ

協力開始時から本調査団派遣時までには受け入れた研修員は以下のとおりである。(平成3年度受け入れ 4名) 初年度の受入については、概ね分野、期間共に予定通りである。

研修科目	研修員氏名	受入期間	受入機関
神経内科	Dr. Byung-Chul LEE	1991. 9. 18-1992. 9. 6	岩手医科大学 東京都老人医療センター 国立循環器病センター
リハビリテーション	Dr. Joong-Sun CHON	1991. 9. 18-1992. 9. 6	東京慈恵会医科大学 東京都リハビリテーション センター 国立リハビリテーション センター 弘前大学医学部付属 脳神経疾患研究施設 青森県立中央病院 秋田脳血管研究センター (広島県御調町病院) (養育院) (国立栄養健康研究所)
整形外科	Dr. Won-Ho CHO	1991. 9. 18-1992. 9. 6	東京都老人医療センター 東京通信病院 日本医科大学付属第一病院 東京警察病院
看護	Ms. Sun-Ok AN	1991. 9. 18-1992. 9. 6	東京都老人医療センター

### 3-5 資機材供与及び利用状況

協力開始時から調査団派遣時までに平成2年度分約117,000千円相当の機材が供与された。調査団派遣時には、機材の引き取りは完了しており、センターの完成に合わせ、据え付けを行っているところであった。また平成3年度分約78,000千円相当の機材についても供与手続中である。

患者監視装置については、据え付けに技術を要するため、据付のための専門家の派遣を要請されている。

#### I. 平成2年度分供与機材リスト

##### 【臨床部門】

番号	機 材 名	メーカー及びモデル名	数 量
1	X線移動撮影機	東芝 KCD-12MC	1式
2	人工呼吸器	アイカ CLV-50	5台
3	自動血液ガス分析機	常光 JBA-7	1台
4	患者監視装置	フタダ DS-3000	1式
5	インフュージョンポンプ	アトム P-300	3台
6	心臓除細動装置	フタダ FC-710U	3台
7	血圧計	日本コーリン BP-8800	1台
8	シリンジポンプ	アトム 235	3台

##### 【リハビリテーション部門】

番号	機 材 名	メーカー及びモデル名	数 量
1	ハバードタンク	酒井医療 BES-2000S	1台
2	循環濾過殺菌装置	酒井医療 SU-100	1台
3	ワールプール（上・下肢用）	酒井医療 WP-3000	1台
4	高さ調節式起立訓練ベッド	酒井医療 SPR-8000	1台
5	昇降式作業台	酒井医療 SOT-1901	1台
6	トレッドミル	酒井医療 SPR-7620	1台

番号	機 材 名	メーカー及びモデル名	数 量
7	トラックタイザー	酒井医療 TC - M2 - B	1台
8	エアロバイク	酒井医療 コンビ800	1台
9	スタンディングセット	酒井医療 SOT - 1800	1台
-2	スタンディングブロック	酒井医療 SOT - 1803	1台
10	レスポンドII	メドトロニック	1台
11	交互型ウォーカー (折り畳み式)	酒井医療 L - 6081S	2台
12	前輪付きウォーカー (折り畳み式)	酒井医療 L - 6033S	2台
13	シュアーゲイト・クラッチ	酒井医療 L - 6360	2台
14	キネトロンII	酒井医療 KNT - 202	1台
15	車椅子	酒井医療 SPR - 391	3台
16	片マヒ用車椅子	酒井医療 SPR - 395	2台
17	フルリクライニング式車椅子	酒井医療 SPR - 394	1台
18	電動車椅子	酒井医療 MC - 14S	1台
19	コードケイン	酒井医療 L - 6316S	2台
20	ロフストランド・クラッチ	酒井医療 L - 6342	2台
21	重錘バンド	酒井医療 SPR - 591A~591M	各1
-2	延長バンド	酒井医療 SPR - 591X	5本
-3	エスカート	酒井医療 SPR - 595N	1台
22	極超短波治療器	酒井医療 MJ - 201	2台

番号	機 材 名	メーカー及びモデル名	数 量
23	超音波治療器	ITO KUS - 2A	2台
24	干渉低周波治療器	酒井医療 MDT - 201	1台
25	オールウェーブ太陽灯	酒井医療 SLT - 1001	1台
26	トイレット装置	酒井医療 SAD - 1310	1式
-2	コンモード関係	酒井医療 L - 7103S - R - 4497	1式
27	バックウォーマー	酒井医療 CL - 40	1台
-2	エスパック	酒井医療 CLS - 11~13、 21、22	各1
-3	バック用ワゴン	酒井医療 CLW - 1	1台
28	冷療法機器	酒井医療 T - 0546	1台
	コールドバック	酒井医療 T - 0548DD - 0547	1式
29	パラフィンバス	酒井医療 PB - 3	1台
	固形パラフィン	酒井医療 PLB - 2B	1台
30	アングル・ストレッチャー	酒井医療 SD - 603	1台
31	マイティ・テーブル	酒井医療 SPR - 5450	1台
32	台所装置	酒井医療 SAD - 1110	1式
33	ロリアンスプリント用品	酒井医療 A - 292 - 1 - A617M	1式
34	ADL用品	酒井医療 R - 3180 - R - 7931	1式
35	リムローダー	酒井医療 LLD - 2100	1式

## Ⅱ. 平成3年度分供与機材リスト

### 【臨床部門】

番号	機 材 名	メーカー及びモデル名	数量
1	YAGレーザー	SLT ジャパン CL-50	1式
2	携帯型血圧連続測定装置／解析装置	コーリン電子 ABPM630/ AA200	1式
3	筋電図、誘発反応検査装置	日本光電 MEM4104K	1式
4	超音波血流映像装置	アロカ SSD-870	1式

#### 4. 暫定実施計画 (TSI) 及び詳細年次計画

韓国側から別添リストのとおり老人保健医療センター運営計画が提出された。

##### 【全体計画】

プロジェクト全体としては、脳卒中の診断治療の中心になる神経内科、回復のためのリハビリテーションを特に強化していくことを韓国側と確認した。

韓国側としては研究分野についても力を注ぎたいが、病院の経営状態によって研究分野の進捗が左右される可能性がある。

##### 【研修員受入れ】

全体で20～21名の研修員を暫定実施計画上予定している。研修分野の割り振りは次のとおり。

##### 診断と治療

脳卒中の診断、治療の中心となる神経内科の医師をもう一人日本で研修させたい。  
その他の老人の疾病に関する分野についても研修員を派遣したい。

##### ・内科系 (6名)

神経内科 (現在研修中の医師に加え、もう一人研修員を派遣したい。合計2名)

消化器内科 (1名)

循環器科 (1名)

放射線科 (1名)

精神科 (1名)

##### ・外科系 (3名)

整形外科 (1名 現在研修中)

神経外科 (1名)

救急外科 (1名)



・リハビリテーション (3名)

医師 (1名 現在研修中)

理学療法士 (平成4年度研修員として入選中 1名)

作業療法士または言語療法士 (韓国には言語療法士の教育システムがないが1名の研修員を派遣したい)

・看護 (3名)

韓国側としては出来るだけ多くの看護婦を、出来れば1年1人ではなく、6か月2人の研修員を送りたい意向。しかし日本側としては短期間の研修員であっても人数枠としては同様にカウントされてしまう旨、韓国側に説明した。

現在受入中の看護研修員はICUケアを中心にしており、今後は訪問、在宅看護、リハビリテーション看護にも重点を置いていく。

・研究 (4名)

老化、栄養、疫学、痴呆に関する研修員を送りたい。

**【専門家派遣】**

研修員の帰国後のアフターケアのための専門家を中心とする。一年に8名を目安とする。

**【機材供与】**

初年度、2年度には臨床、リハビリテーション用機材を中心に供与した。研究用機材の枠も必要。

## 5. 実施運営上の問題点

### (1) 老人保健医療センターのスタッフについて

韓国側の各協力部門の責任者は内科、外科、リハビリテーション、看護、研究と院長となっている。リハビリテーション、内科は平成3年度受入の研修員が日本での研修を終了後、責任者となる予定。また多くの新しいスタッフの雇用計画はなく現有のスタッフを活用していくとのことであった。長期専門家が派遣されていないことから日本側とプロジェクト全体の責任者、また部門ごとの責任者との十分な意志疎通を図る必要がある。

## 添付資料

(1) 韓国老人保健医療センター運営計画(韓国側作成資料)

(2) 脳卒中原因の疫学的調査研究(案)( “ ” )

添付資料(1) 韓国老人保健医療センター運営計画

1991年12月 作成

年 年目, 月 項目	1年目										2年目										3年目										4年目										5年目									
	'90					'91					'92					'93					'94					'95																								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
会計年度(日本)	'90					'91					'92					'93					'94					'95																								
	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4																	
I. 建物	-----																																																	
II. 老人保健医療センター運営	-----																																																	
III. 計画の進行	〈三年間の結果評価〉																																																	
1. 脳卒中の診断体系																																																		
1) 放射線学的診断	CT, SPECT, Digital Subtraction Angio, MRIなどで早期診断体系																																																	
2) 神経学的診断	EEG, EMG, NCV, Brain EEG mapping, Transcranial Doppler																																																	
2. 脳卒中の治療体系																																																		
1) 内科的治療	急性期及非亜急性期のIntensive Neurological Care中心治療体系、早期PT後 在宅治療																																																	
2) 外科的治療	顕微鏡手術、脳定位手術、血管吻合術など、脳出血の手術適応技術、術後Careの向上																																																	
3. 再活医学体系																																																		
	急性期 Bed - side 再活療法、早期再活療法、Team Approach																																																	
	回復期再活療法																																																	
	維持期 在宅、通院再活療法																																																	
4. 脳卒中の看護体系																																																		
1) 脳卒中に対する看護	NICU看護																																																	
2) 訪問、在宅看護	訪問、在宅看護、家族のTraining																																																	
5. 脳卒中及び老化研究																																																		
1) 老化の病理、生理学的研究	老化の動物実験的研究																																																	
2) 老化の栄養学的研究	老化の栄養学的研究																																																	
3) 脳卒中の疫学的研究	脳卒中の発生頻度、発生原因、Risk Factor の調査分析																																																	
4) 痴呆に関する研究	Alzheimer's 病の病因研究																																																	

年 年目, 月	1年目										2年目										3年目										4年目										5年目									
	'90					'91					'92					'93					'94					'95																								
項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
会計年度 (日本)	'90		'91			'92					'93					'94					'95																													
	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4													
IV. 研修員の日本派遣																																																		
1. 内科系																																																		
1) 神経科											1-1)										1-1)																													
2) 老人病学 (消化器)											1-2)																																							
3) 肺内科																					1-4)										1-3)																			
4) 放射線科																															1-5)																			
5) 老人精神科																																																		
2. 外科系																																																		
1) 整形外科											2-1)										2-2)																													
2) 神経外科																															2-3)																			
3) 救急医学											3-1)										3-2)																													
3. 再活医学系																																																		
1) 再活医学科医師																															3-3 or 4)																			
2) 理学療法士																																																		
3) 作業療法士																																																		
4) 言語療法士																																																		
4. 看護系																																																		
1) 脳卒中患者看護											4-1)										4-2)																													
2) 訪問、在宅看護																															4-3)																			
3) 再活看護																																																		
5. 研究																																																		
1) 老化 (病理、生理)											5-1)										5-2)										5-3)																			
2) 栄養																															5-4)																			
3) 疫学																																																		
4) 痴呆																																																		
6. その他 (Computer, 病院運営)																					6)																													
V. 日本から専門家受入																																																		
1. 内科系	1)---										1)-----										1)-----					1)-----																								
2. 外科系																					2)-----																													
3. 再活医学系																					3)-----										3)-----																			
4. 看護系																															4)-----																			
5. 研究																																																		
1) 老化	<u>5-1)</u>										5-1)-----										5-1)-----					5-1)-----																								
2) 栄養	<u>5-2)</u>										5-2)-----										5-2)-----					5-2)-----																								
3) 疫学	<u>5-3)</u>					5-3)					5-3)-----					5-3)-----					5-3)-----					5-3)-----																								
4) 痴呆																																																		
6. 社会医学																															6)-----																			
7. その他											7) 7)																																							
VI. 備考																																																		



添付資料 (2)

脳卒中原因の疫学的調査研究 (案)

1992. 1. 1

韓国老人保健医療 Center





初めに：

本調査研究は、日本での厚生科学・健康増進調査研究事業の「健康運動習慣等の生活習慣が健康に与える影響についての疫学的研究」案に準じて韓国における脳卒中の原因Risk Factor に対する疫学調査を施行する予定である。

## SUBJECTS

Age : 40 - 49, 50 - 59, & 60 - 69

Sex : Male and Female

Number : 20 of each age and sex guoups, total 180

### I. Life Styles Survey

1. 24 hours - recall dietary survey
2. Questionnaire of labor and exercise
3. Questionnaire of alchol drinking, smoking and other

### II. Risk Factors

1. Blood pressure
2. Serum - total cholesterool and HDL - choleroi
3. Serum triglyoeride
4. Gamma - GTP
5. Hb & Ht
6. Fasted blood sugar
7. Sodium excnetion in 24 - hours urine

### III. Death Rate in the specific Populations

1. Total daeth rate
2. Death rate of stroke
3. Death rate of ischemic heart disease
4. Death rate of cancers

### IV. Incidence Rate of Diseases in the specific Population

1. Incidence rate of stroke
2. Incidence rate of myocardial infarction and sudden death
3. Incidence rate of cancers

JICA

S  
E  
C  
T  
I  
O  
N

